大宅町長の公務百景 (No. 84)

※町長の公務を報告するコーナーです。



6月

- 1 福島県町村会総会
- 新規採用職員研修講話/辞令交付式(固定資産評価審査委員· 監査委員) /任命式(教育委員会教育委員) /県医師会来庁

会議・行事名

- 3 町観光物産協会総会
- 南会津会理事会/南会津地方町村会理事会/(株) ISホール ディングス来庁
- 5 県高等学校体育大会レスリング競技開会式
- 7 自治功労者表彰伝達式
- 9 日本政策金融公庫来庁
- 10 南会津地方振興局来庁/湯田一右衛門氏寄附金贈呈式

今月号の目次

P 2 : 特集

「南郷刺し子」が描くもの

P6:役場からのお知らせ

職員採用候補者試験のご案内 など(15件)

P15:地域おこし協力隊通信

澁川絢有隊員

P16:まちの話題

町政の発展を今なお願う など(6件)

P18: 学び舎スケッチ

町内各学校の日常をご紹介、図書館へ行こう!

P22:健康通信

すまいるだより、日曜当番医、健康レシピ、 むし歯ゼロのお友だち

P25:くらしの情報

町内プールを開放します など(5件)

P26: 文芸・戸籍など

伊勢道中記、文芸ごよみ、大宅町長の公務百景、 戸籍の窓口、今月号の目次、編集後記

P 28: Only One

宗像美由紀さん、今月号の表紙、7月の納税こよみ

編集後記

- ◆取材した南郷刺し子会に、男性会員はお一人だけ。男性会員 も募集中とのことで、興味のある方はぜひ!
- ◆静岡県熱海市では、降り続く雨による土砂災害が発生しま した。近年は、いつどこで災害が発生しても、おかしくあり ません。日頃 から災害への備えを万全にしましょう。

ご意見・ご要望はコチラまで

総合政策課 津吹 雅之 kouhou@minamiaizu.org

- 11 第2回町議会定例会(初日) /県園芸課・JA全農来庁
- 15 会津鉄道(株) 株主総会・同取締役会
- 16 第2回町議会定例会(2日目)
- 17 第2回町議会定例会(3日目)
- 18 第2回町議会定例会(最終日)
- 東北電力ネットワーク(株) 来庁/南会津地方環境衛生組合 議会臨時会・南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会
- 22 会津鉄道(株) 来庁/舘岩地域協議会委嘱状交付式
- 23 町社会福祉協議会来庁/土地区画整理審議会
- 24 福島県土地改良事業団体連合会理事会
- 27 陸上自衛隊第6音楽隊演奏会
- 28 阿賀川河川事務所来庁/野岩鉄道(株) 株主総会・同取締役会
- 29 福島県市町村総合事務組合来庁/東邦銀行田島支店来庁
- 30 課長会議/田島税務署来庁

戸籍の窓口(5月27日~6月28日)

※上記期間の届け出のうち、承諾のあったものを掲載しています。

「誕生おめでとう」

「お悔やみ申し上げます」のコーナーは、

プライバシー保護のため削除します。

ご了承ください。



当時、伊勢参りに行くために は、さまざまな取り決めがあり ました。中荒井村(現中荒井区) では、天保12年(1841年) に記 された「伊勢代参講面附帳」の 22項目に及ぶ取り決めに基づき、 伊勢参りが執り行われました。 主なものをご紹介します。

まずはじめに、参加者はくじ 引きで決定します。ただし、55歳



「伊勢代参講面附帳」原本 渡部 雅俊 氏(中荒井)所蔵

以上の方は、くじ引きをせず、 優先的に参加が認められました。 参加者を見送る「送り酒」の 儀式は、組頭(村の役人) が担当 し、酒2升、するめいか10枚、 煎り大豆、くるみなどが用意さ れました。

道中の旅費については、村の 中で積み立てを行い、運用益を 手渡していたようです。

明治9年(1876年)2月14日、 準備を整えた一行は、中荒井村 や近隣の村々から集まった多く の人々に盛大に見送られ、雪が 降り、道がぬかるむ中、伊勢参り へ出発しました。

途中、関本村(現関本区)の 知人宅でお茶やお菓子をごちそう になり、この日は糸沢村(現糸沢 区)の本陣・阿久津家に宿泊した と記録が残されています。

旅の初日は、こうして幕を閉 じました。

山 短歌

五月な 花吹雪 大門 か 旬 きらきらとして流 \sim 乱

れ

É

たり

の友らと登る弁天山 我が町見やり の 香 0 (餉の卓に \mathcal{O} 蕨採 ŋ れ ゆ

お ゃ 品添き ベ り 弾

湯田

恭之(田沢

湯田 芳子(寺前) 清(栗生沢)

夏の夕藍の暖簾

夏に入る出窓の猫の寝息か

癌検診: 終えてひ と息青 をくぐる 田 風風

平野恵美子

句会 南郷 地 域

源五郎昔は田 梅雨に入る友の 名のあり 死亡欄

咲き誇る玄関前 んぼで平泳ぎ の 庭

馬場 馬場 ミ忠子

五十嵐孤庵 Ш

お ま吟社 島 地

梅雨日 野を渡り 留守居する母に桜桃土産とす 照 木立に ŋ 光る腕にそよぐ 戦ぐ風青

銀杏俳

句

会

伊

あやめ

星 昴

2021.7 広朝